



社会福祉法人愛徳福祉会理事長  
梶浦 一郎氏

社会福祉法人 愛徳福祉会 大阪発達総合療育センター グランドオープン  
重症心身障害児(者)施設「フェニックス」全面オープンしました 記念式典

建築面積	約7818㎡	鉄筋コンクリート	6階建て
定員	重症心身障害児・者施設	60床	
	ショートステイ	20床	
	肢体不自由児施設	40床	
	重症心身障害児者A型通所	15名	
	肢体不自由児通園施設	50名	
	障害児通園相互利用	10名	



大阪発達総合療育センターセンター長  
児玉 和夫氏

人工呼吸器をつけた重度の方々も含めて利用出来る入所施設として、また、リハビリテーションや生活面においても充実した取り組みを行うことができる施設として大きな期待を背負い、この度、重症心身障害児施設「フェニックス」が全面開所しました。(昨年、入所25名で一部開所)  
入所機能だけではなく、緊急時や今後の生活に向けた体験利用も含めたショートステイ事業も実施されます。施設の規模から20名というショートステイは運営上大変なことと思われるが、在宅生活支援の柱として大きな期待が寄せられています。

当日は、雨の中でしたが、多くの来賓が出席される中、グランドオープン記念式典が盛大に催され、午後からの見学会にはさらに多くの方が参加されていました。多くの方々の期待の大きさを改めて感じました。  
「フェニックス」の大きなチャレンジに大きな拍手を贈るとともに、微力ながらも、私たちも力を合わせて支援をしていきたいと思えます。(S)



親の声

長年の夢かなう!!  
大阪市には重症心身障害児施設が一つもなく、高齢になった親達が必要になって介護し続けてきました。  
その願いが叶って、「JR鶴ヶ丘駅から徒歩2〜3分、至便かつ環境抜群(長居公園隣接)、都市型の施設を造っていただきました。ハード、ソフト共によく、特にソフトの部分が素晴らしいとの利用者の方の声をしきりで本当に良かったと思えます。……………(利用者の母)

大阪府重症心身障害児・者を支える会  
14回 総会、  
記念講演  
平成19年5月20日(日)

会場 大阪国際交流センター 3F (いちよう)

〒543-0001 大阪市天王寺区上本町8-2-6  
TEL 06-6772-6729  
近鉄:「上本町」駅 徒歩5分  
地下鉄:「谷町9丁目」駅(谷町線・千日前線)  
号または近鉄 号出口 徒歩10分  
「四天王寺前夕陽ヶ丘」駅(谷町線)  
号または 号出口 徒歩10分  
市バス:「上本町8丁目」バス停 徒歩1分

テーマ 「重症心身障害児者の地域生活支援のために」  
入所施設と地域在宅生活を結んで

講師 社会福祉法人びわこ学園 重症心身障害児者施設  
びわこ学園医療福祉センター統括施設長 杉本健郎氏

日程 9:45〜 受付  
10:30〜12:00 総会  
13:00〜14:30 記念講演

\*講演の申込みは事務局宛に郵送又はFAXをお願いします。  
\*会員の方には別紙にて御案内申し上げます。

OTK  
支える

No 56

大阪府重症心身障害児・者を支える会  
大阪支部



守る会三原則

決して争ってはいけません。親も個人も、重い障害児の超えること、運動に参加する者は、弱も強も、いもえることを一人も守る。親も個人も、重い障害児の超えること、運動に参加する者は、弱も強も、いもえることを一人も守る。

# ぼくたち、わたしたちはどこへいけばいいの？

- 医療ケアを伴う最重度の障害児者 -

春、新しい出発の季節です。どんなに重い障害があっても、学校生活を楽しく成長してきたみんなもいよいよ卒業を迎える日がやってきますが、進路は決まりましたか？

鼻汁、胃液などの経管栄養、口腔や気管切開部からの痰の吸引、導尿、酸素投与などの医療ケアが必要で、一日中てんかん発作や、呼吸状態・体温調節・体位交換・排便排尿その他、健康状態の観察が欠かせない最重度の方にとって、学校卒業後の生活の場はなかなか無いのが実情です。

自立支援法の生活介護では、嘱託医 非常勤でオーケーの看護師・O T , P T (いずれか)の医療スタッフ体制です。常時、健康管理にきめ細かい配慮がある重症心身障害児者に対応する施設としては、とても安心できるものといえます。



そんな中で重心通園事業（A・B型）は重症心身障害児者にとって大きな拠り所となっています。重心通園事業A型は医療機関である重症児施設等に併設されているものです。B型については併設が条件ではありませんが、医療的なケアが必要な方を含めて特別な配慮が必要な方の受け皿として位置づけられているものです。現在、この通園事業が廃止される方向で考えられていることに大きな不安を感じています。A型は療養介護、B型は生活介護ということでしょうか。B型については廃止になってしまうところもあるかも知れません。また、何れも、重症心身障害児者が通うことを前提に実施されている事業と利用者像に大きな幅のある生活介護が、果たして同じサービスを提供できるのでしょうか。重症心身障害児者に不可欠な送迎等の問題や医療的なケアについての取り組みなど様々な問題を抱え、むしろ充実が望まれている通園事業を、後発の新事業が似たようなものだからというところで廃止されてしまうようなことになると、特に医療的なケアが必要な方の日中の活動場所には以前よりも限定されたものになってしまうと、学校生活の中で培ったことが活かされることなく、卒業後、親子で途方にくれるという姿をこれまででよく見えてきたことでしょうか。

「- 障害がある人が普通に暮らせる地域社会づくり -」

障害者自立支援法で示した理念が看板倒れにならないことを強く望みます。



利用者様との出会いを楽しみにしております。

## へルパ=さん募集し募守!!

熱意のある方、車の運転ができる方、土を中心に活動できる方、歓迎します！

登録については履歴書と資格証明書が必要です。

## 重症児者を支える会居宅介護事業所

事業内容：身体介護 家事援助 移動支援 重度訪問介護  
受付時間：9時～18時

〒545-0011 大阪市阿倍野区昭和町4丁目9番17号

TEL:06-6624-2565 FAX:06-6624-2561

## 支える会泉佐野居宅介護事業所

事業内容：身体介護 家事援助 移動支援 重度訪問介護  
受付時間：9時～18時

〒598-0002 大阪府泉佐野市中庄1522-1

TEL:0724-63-2297 FAX:0724-63-2454

# 社会福祉法人 大阪府障害者福祉事業団 重症心身障害児(者)施設「すくよか」オープン

～平成19年4月1日、金剛コニー内に重症心身障害児(者)施設が開設しました。～

定員	重症心身障害児(者)施設	100名
	短期入所	10名
診療科目	10科	内科、小児科、循環器科、精神科、外科、整形外科、婦人科、耳鼻咽喉科、歯科、リハビリテーション科
建物病棟	平屋建て	きた棟 行動障害のある方対象（移動に支障のない方 全て個室）TEACHモデルを参考に移動に支障がある方対象
	みなみ棟	
診療棟	地上2階建て	
建築面積	4,691㎡	
延床面積	5,573㎡	
総工費	19億円	



金剛コニーの再編計画の中で、老朽化した施設の建て替えを旧法重症児施設で整備したものです。障害程度区分3以下の方、及び地域生活希望者が平成23年度末までに地域生活に移行し、その他の現入所者及び出られない方が重症児施設、特別養護老人ホーム、生活介護に移行するそうです。新しい重症児施設は広い敷地に恵まれ、ゆったりとしたスペースのユニットで構成されていました。床暖房、強化ガラス、スイッチ類など日中の生活の方や行動障害を伴う方への対応に配慮されていました。

## 「支える会」入会のご案内

大阪府重症心身障害児・者を支える会(全国重症心身障害児(者)を守る会大阪支部)への入会についてご案内いたします。

【個人会員】 年会費 8,400円  
本部「両親の集い」、本会「支える」発行購読料含む  
年会費 3,600円  
本会「支える」発行購読料含む

【法人・団体会員】 年会費 10,000(1口)  
本部「両親の集い」、本会「支える」発行購読料含む

【協会員】 年会費 3,000円(1口)  
(運営資金の協会員)  
本会「支える」発行購読料含む

申込み・問い合わせは事務局までお願いします。

全国どこを合わせないで  
かたわらない事があひま



## 会費納入のお願い

既に納入がお済みの方にはあしからずお許しを賜り  
ますようお願い申し上げます。

<問い合わせ> TEL 06-6624-2555  
FAX 06-6624-2556

<郵便振替> 00930-9-69598  
大阪府重症心身障害児・者を支える会



## 第4回 重症心身障害児(者)を守る全国大会 神戸市にて開催

### 【大会概要(予定)】

- と き  
平成19年6月16日(土)～6月17日(日)
- と ころ  
神戸ポートピアホテル  
〒650-0046  
神戸市中央区港島中町6丁目10番1号  
TEL(078)302-1111
- 主 催  
社会福祉法人全国重症心身障害児(者)を守る会  
全国重症心身障害児(者)を守る会  
兵庫県重症心身障害児(者)を守る会
- 後 援  
厚生労働省 文部科学省 他
- 大会次第  
[第1日目]  
6月16日(土)神戸ポートピアホテル  
受 付 12:00～13:00  
基 調 講 演 13:00～13:40  
江草安彦氏(日本重症児福祉協会理事長)

分科会 14:00～17:00  
〔第1分科会〕  
「障害者自立支援法と今後の国立病院機構のあり方」  
〔第2分科会〕  
「転換期を迎えた重症児施設」  
〔第3分科会〕  
「在宅重症児者を支えるネットワークのあり方」  
〔第4分科会〕  
「母親の役割とは」  
懇 親 会 18:00～19:30  
〔第2日目〕  
6月17日(日)神戸ポートピアホテル  
みんなで語ろう 9:00～10:00  
式 典 10:30～12:00

申し込み先：  
「支える会」事務局 締切4月23日(月)  
問い合わせ先：  
社会福祉法人  
全国重症心身障害児(者)を守る会 事務局  
TEL(03)3413-6781～3 FAX(03)3413-6919  
兵庫県重症心身障害児(者)を守る会  
(担当：小山)  
TEL/FAX (0798) 65-2175

### 「支える会」事務局

〒545-0021  
大阪市阿倍野区阪南町5-15-28  
百徳コミュニティセンター2階  
大阪府重症心身障害児・者を支える会  
会 長 鈴木 祥子  
TEL 06-6624-2555  
FAX 06-6624-2556  
<郵便振替> 00930-9-69598

### 支える会ホームページのご案内

ドメイン名 <http://www.sasaeru.or.jp/>  
メールアドレス [osaka@sasaeru.or.jp](mailto:osaka@sasaeru.or.jp)  
様々な御意見・御質問や情報メールや  
掲示版にお寄せ下さい。

全国・各地へリンクあり!



### 編集後記

能登半島地震の被災者の皆様へ心よりお見舞い申し上げます。  
大きな被害があつて連絡機能が不能になり安否が確認できず困つたというニュースがありました。重症児者を抱えた会員の方向の安否は早急に知りたいところで、在宅会員の多が大変支部しても身近な問題として対応策が求められます。  
この地域は高齢者が多く、避難所生活は弱つた体にはさぞかし厳しいものと察されます。病弱な方、障害児者が安全に避難されているでしょうか。  
この日本ではどこに住んでいても必ずいつかは遭遇するといふ大震災、危機感を持つ行政も個人も平素から考え、出来るだけの備えをしておかなければいけないと改めて思いました。

編集委員一同

(事務局) 編集・責任者  
〒5450021 大阪府阿倍野区阪南町5-15-28  
大阪府阿倍野区百徳コミュニティセンター2F  
TEL 06-6624-2555 FAX 06-6624-2556  
郵便振替口座 00930-9-69598  
大阪府重症心身障害児・者を支える会  
運営委員会 鈴木 祥子

発行所 大阪府重症心身障害児者団体連合会

〒5450021 大阪府阿倍野区阪南町5-15-28

〒5450021 大阪府阿倍野区阪南町5-15-28

〒5450021 大阪府阿倍野区阪南町5-15-28

(会費の方は会費の中に含まれております)

## 予告

### 「強度行動障害問題を考える 研修会」開催

独立行政法人福祉医療機構「長寿・子育て・障害者基金」助成事業

日時：平成19年7月7日(土) 9:45～ 受付  
10:30～12:00 基調講演  
13:00～16:00 シンポジウム  
場所：大阪国際交流センター 小ホール(大阪市天王寺区上本町8-2-6)

### 基調講演

講師：門 眞一郎氏(京都市児童福祉センター副院長 児童精神科医)  
テーマ：「広汎性発達障害を伴う重症児者の処遇について」

### シンポジウム

テーマ 「重症心身障害児者施策の現状を見据えて」  
シンポジスト(予定)第二びわこ学園  
金剛コロニー 重症心身障害児施設「すくよか」  
厚生労働省  
当 事 者  
(詳細は追ってお知らせいたします)

主催：大阪府重症心身障害児・者を支える会  
費用：参加費 1,000円

問い合わせ先 「支える会事務局」  
TEL 06-6624-2555 FAX 06-6624-2556  
Eメール： [osaka@sasaeru.or.jp](mailto:osaka@sasaeru.or.jp)

### 本会会員の藤井正恵さんのエッセイが本になりました



### 「いのちキラキラ ヒーちゃんがくれた宝物」

著 者：藤井正恵(ふじいまさえ)  
ジャンル：エッセイ 出版社：新風舎  
価 格：¥1470(1400)

### 【概要】

「親って なんて幸せな仕事だろう」  
脳が発達しない障害をもって生まれた息子の3年と2日が終わった。生き抜くためとはいえ、人工呼吸器、栄養チューブでの生活は苦しかったであろうに、私と目が合うとよく笑った。  
「ありがとう、がんばるからね」  
しゃべれない息子の笑顔は、いつもそう言っているようだった。



書籍の紹介